



年 頭 所 感

PC 建築部会部会長

八 田 英 治

大成ユーレック株式会社社長 代表取締役社長

2014年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には平素よりPC建築部会活動に多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、台風の発生数が19年ぶりに30個を超え、近畿での河川氾濫や北関東での突風、伊豆大島での土石流、フィリピンでは強風と高潮が街を破壊しつくすなど大きな被害が発生しました。地球温暖化の進行を食い止めることと、防災・避難体制の大切さに改めて気づかされる年でありました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年のわが国経済は、デフレ脱却と経済再生に向けた政府による経済対策の実施や、日本銀行による質的・量的金融緩和策の導入の結果、回復の傾向を見せ始めました。また、円高是正を追い風に輸出が持ち直し始め、株高を背景とした景気好転への期待感から消費マインドが高まるなど、個人消費にも堅調な動きが見られるようになりました。

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間投資も消費税増税前の駆け込み需要があったことなどから、業界全体の受注高は前年同期を上回る水準で推移しました。しかしながら、建設技能者不足が深刻さを増し、原材料・資機材の不足が顕在化するなど、消化面においては厳しい環境となりました。

今年の3月には、東日本大震災から3年目を迎えようとしております。今もなお住み慣れた土地を離れ避難を続けられている方々や、仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方々が多数いらっしゃる状況に変わりはなく、一日も早い復興が望まれているところであります。しかしながら本年以降、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けての準備が順次スタートすることから、人手・資材の不足や建設費の高騰に拍車がかかるなど復興事業の先行きが懸念されるところであります。

このような状況の下、PC建築部会は、PC建築の需要の拡大と、工業化技術の開発、PC部材の品質向上等を図ることを目指して、各種活動を推進しております。具体的には、PC部材品質認定事業、PC構造審査事業、PC工法施工・PC部材製造管理技術者資格認定事業の3事業を実施しております。

昨年の主な活動についてですが、PC部材品質認定制度に基づく第9回のN認定及びH認定の定期審査を4月より開始し12月までに国内58工場・海外3工場にて実施しました。JASS10改定に伴う既成の指針・基準等の見直し作業は、12月までに完了させております。PC構造審査については3物件実施し、また、第6回目のPC工法施工管理技術者試験及び更新講習を実施しております。復興関係においては、一級建築士事務所（一社）プレハブ建築協会と連携して東日本大震災の災害公営住宅のPC化に対応し、設計・監理の実績を挙げてまいりました。

本年度は3事業を継続して実施するほか、災害公営住宅のPC化に引き続き対応していくとともに、今後増えてくる需要に対応するため、優良なPC工場を整備し、製造能力を上げていかなければならないと考えております。PC建築部会として、安全安心で高品質な都市再生に寄与しつつ、昨今の労務者不足に対応できるPC建築のメリットを積極的にアピールして行きたいと考えております。

建設業界の持てる技術やノウハウを終結し、これからもPC建築のさらなる発展を目指して活動してまいりますので、どうか皆様のご協力を賜りたく、よろしくごお願い申し上げます。

ます。

最後になりましたが、今年一年の皆様方のご健康、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。